

2017
2月

Sasaiシボ

発行/佐佐井株式会社
北九州市小倉南区上曽根新町 2-25
☎093-472-1335
FAX 093-472-1790
http://www.bf331.com

英食品会社 150億円で買収 永谷園HD

永谷園ホールディングス(HD)は産業革新機構と共同で、英国でフリーズドライ食品の製造販売を手掛けるブルームコ社を150億円で買収すると発表した。お茶漬けのもとなど和食のフリーズドライに強い永谷園HDだが、海外市場に合わせた商品開発などで相乗効果をどう出せるかが焦点となる。ブルームコは特に果物を使ったフリーズドライ商品の大量生産に強みを持ち、英国のほか、フランスや中国、米国に工場と営業拠点がある。永谷園HDの主力製品のお茶漬けのもとなどを現地風にした商品を、ブルームコの販売網を活用して海外に売り込んでいく。両社の技術を生かし、日本のコメや果物をフリーズドライ化した商品の開発にも取り込むとみられる。

—日経MJ2016.12.5—

「後継者不在」7割 卸や小売りで深刻

オーナー企業の多くが後継者難に直面している。英国データバンクの調査で全国のオーナー企業には建設業や卸売

業、小売業が多く、全体の7割が後継者不在だった。

最近では後継者難で国内外の企業に事業譲渡を検討するケースも増えている。中国の経営コンサルティング会社が展開するインターネット上のM&A仲介サービスには、日系企業の登録が相次いでいるという。今後はM&A(合併・買収)や経営統合で後継者問題を解消する動きが、国境を越えて広がる可能性もある。

—日経MJ2016.12.11—

丸福珈琲店、九州に進出

アサヒ飲料の缶コーヒー「ワンダ 極」シリーズの監修を手掛ける「丸福珈琲店」が、福岡市の博多阪急にオープンした。創業から80年を超え、関西を中心に熱心な固定客を抱える老舗コーヒー店だが、九州への出店は初めて。「深煎りの極み」と呼ぶ独自の焙煎技術を使ったコクの深いコーヒーや店頭で焼き上げるホットケーキが売り。店内はリゾートホテルのテラスをイメージし、パーティーや商談などに使える個室も用意。席数は89で、イラストレーター豊田弘治氏がデザインしたキャラクターやイラストも展示する。

「the food times」オープン！

—FUKUOKA AIRPORT—

大規模な改装工事が続く福岡空港国内線ターミナルビル2階の出発口横に、新しいフードコート「ザ・フードタイムズ」が平成29年1月12日(木)グランドオープン。連日多くの利用客でにぎわっている。開放的な雰囲気、ビルを運営する福岡空港ビルディングは「飛行機に搭乗しない人にも利用してもらえるのでは」と期待を込めている。広さは約1000平方メートルで席は約350席。老舗の博多うどん店「因幡うどん」のほか、かつ丼店やカレー店など計7店が入る(三日月屋のサンドイッチカフェなどの2店は昨年末に先行オープン)。2月にはさらに中華麺専門店「スーラーメン まくり」も加わる。

新ビルは地上5階、地下2階で平成31年3月に改装工事は完了予定。今秋にはラーメン店を集めた「ラーメン滑走路」が3階で営業をスタートさせる。より博多らしさを出したターミナルビル。飛行機が見えるバンケットを備えたレストラン「ザ・ホライズン」(2



階・3階)、屋上デッキ「ザ・デッキオングリーンブルー(仮称)」のオープンでリニューアルが完了する。

—たばらい 福岡観光情報(インターネット)—

【住所】

福岡市博多区下日井778-1 福岡国内線ターミナルビル2階

【電話番号問い合わせ】

092-621-6059(福岡空港案内所)